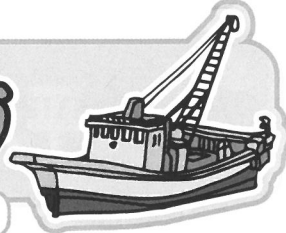




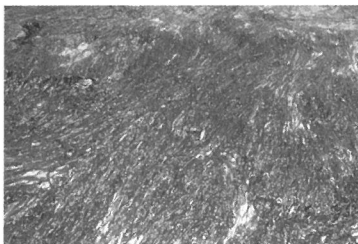
# 何でも魚<sup>うお</sup>ツチング



## イワノリ増殖場の掃除はなぜ必要?

7月に入り、暑い日が続いています。皆様元気でお過ごしでしょうか。今回のお題はイワノリです。イワノリと言えば皆様ご存知のとおり冬の食材ですが、冬の収穫に向けて大事な時期になるのが夏から秋のため、このようなお題にしました。

このイワノリ、寒鰯汁等にかかせない食材ですが、我が櫻井家では、イワノリはおひたしや、お雑煮によく同居しております。小波渡出身だった祖母の影響か、我が家の正月のお雑煮は芋茎とイワノリというシンプルなもので、正月にイワノリはかせません。さて、櫻井家の食文化は置いておいて、皆様イワノリについてどこまで知っていますか?



増殖場のイワノリ



イワノリ入り寒鰯汁

### ●イワノリってそもそも何?

庄内地方でイワノリと呼ばれる海苔は、標準和名(図鑑に載っている名前)を「ウツプルイノリ」といいます。皆様の前にお目見えする時期は主に12月〜2月で、気の早い奴は11月半ばくらいから

出てくることもあります。そして2月に入ると色が変わってきて、流出または枯れてしまいます。

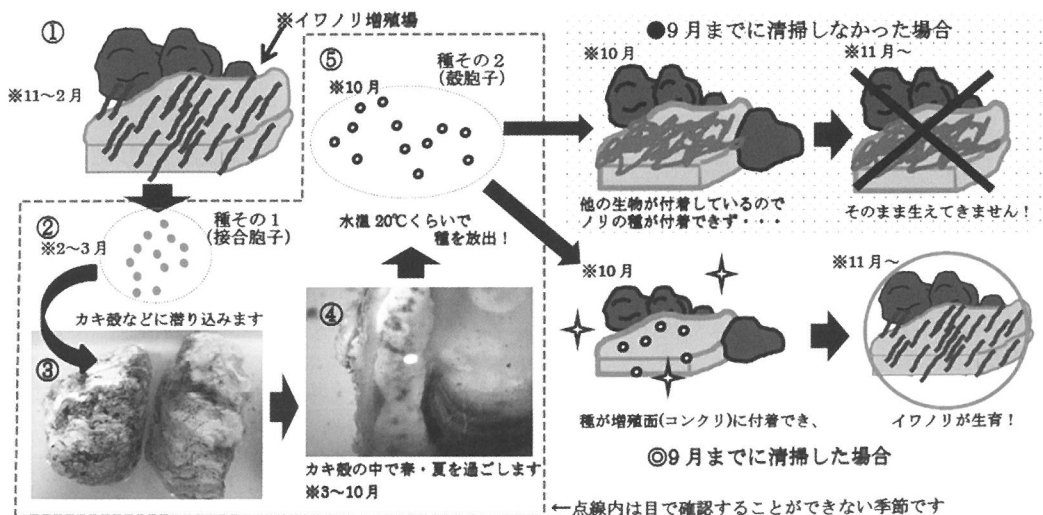
### ●イワノリは種(胞子)を2回出します!

ノリの色が変わっていく時が胞子を出している時期(1回目、2月〜3月)で、次の世代にバトンタッチします。しかし、次の冬までの時期は見かけることはありません。いったいどこに行っただけでしょうか?。実は、ノリを見かけることのない春から秋にかけては非常に小さい状態で、目ではよく見えません。この時期の姿を糸状体と言い、カキ殻の中に潜り込んで夏休みを過ごしております。この糸状体が、水温が20℃くらいになると胞子を出し(2回目、9月〜10月)、その胞子が付着して生長するとイワノリになるわけです。

### ●イワノリ増殖場の掃除の時期は?

1回目の胞子は前述の糸状体になるので、気にしなくても大丈夫です。しかし、2回目の胞子については、付着した後に漁獲物であるイワノリになります。そのため、増殖場など、生えて欲しいところが汚れている、またはほかの生物や藻類が先着した状態だと、胞子が付着できない、または付着しても大きくなれないことになり、なんだか今年は生えてこないな...、となってしまうわけです。

つまり、9月から10月にかけての、2回目のイワノリ胞子が出てくる前に掃除が必要になります。8月の下旬から9月



の早めが適期で、遅くとも9月中に掃除することが好ましいでしょう。増殖面の掃除は大変なものでありますが、畑を耕すのと同じ...、と考えて頂ければ幸いです。

山形県水産試験場 浅海増殖部

研究員 櫻井 克聡

●年金のお受取りは漁協で!